

# ザ・オポジット ハウス 輝かしい受賞の連続

## 世界中から北京のホテルに贈られる賛辞

2009年5月



スワイヤー・ホテルズの第1号ホテル、ザ・オポジットハウスは、オープン以来わずか9ヶ月の間に数々の名聲ある受賞に輝きました。

当ホテルは、他では体験できないような特別なパーソナルタッチのサービス、世界的な建築家、隈研吾による時代の先端をゆくデザイン、セレブシェフと、奇才、デイビッド・ラリスによる革新的なレストランなどで、輝かしい賞を総なめにしました。

コンデナルト・トラベラー(アメリカ版、イギリス版共に)は、2009年の新しいホテル、レストラン、スパのホットリストに選出。

コンデナスト・トラベラー(アメリカ)5月号では、「巧妙なビルトイン式収納、オーク材のフローリングの99室は日本のミニマリズムデザインそのもの。三里屯地区の活気あふれるナイトライフの騒音を完璧に遮断する床から天井までの大型窓は、日中は自然光をふんだんに注ぎ入れる。」と絶賛しています。

新しい解釈のアジアン・キュイジーヌを提供する独創的なレストラン Bei は、同誌の2009年ホットテーブルにも選出されています。Bei は、ニューオーリンズ出身のシェフ、マックス・レヴィーは、日本の著名な寿司職人の元で修行を積んでいます。コンデナスト誌は、彼の料理を斬新で超一流とコメントしています。



アバンギャルドなアジアン・キュイジーヌ

また、Bei はタイムアウト北京(英語版)のホスピタリティアワードで、最も独創的なキュイジーヌの賞を、またベストデザイン賞の2位も受賞しました。

ザ・オポジットハウスの総支配人、アンソニー・ロスは、「ザ・オポジットハウスのスタッフ一同、このような権威ある雑誌の受賞に輝いたことをとても喜んでいきます。私たちは、自然なおもてなしで、美しいインテリアとマッチした素晴らしい料理をゲストに楽しんでいただくことを目指しています。これらの賞をいただいたことでゲストの期待はますます膨らむため、それをさらに超えられるよう、一層の努力が必要だとスタッフ全員が自発的に感じています。」と語っています。



アルフレスコのダイニングも楽しめる  
ガーデンもオープン

さらに当ホテルの地中海料理レストラン Sureño は、タイムアウト誌より、ベスト・ニューレストラン・オブ・ザ・イヤー、及びベストサービス・レストラン・オブ・ザ・イヤーを授与されました。

Sureño は、フランスやイタリアで指導する経験を持つイタリア人シェフ、マリオ・アントニオが率いており、彼は多くの著名なレストランで活躍してきました。

オーストラリアのグルメトラベラー誌は、ザ・オポジット ハウスを2009年のベスト・オブ・ザ・ベスト(世界の新ホテル トップ30)に選出しています。

ナショナル・グラフィック・トラベラー(中国版)は、当ホテルをベスト・デザイン・ホテルとして2009年のゴールドリストに選出しました。



ザ・オポジット ハウスのユニークな  
吹き抜けのアトリウム

ザ・オポジット ハウスは、スワイヤー・プロパティーが大使館の並ぶおしゃれな三里屯地区にオープンした最新のショッピング・ダイニング・エンターテインメントの複合施設、ザ・ヴィレッジの中心的存在です。客室は北京最大級の広さを誇ります。ホテル名のオポジット(反対)は、中国古来の家作り形式「四合院」を取り入れたザ・ヴィレッジの南側(反対側)に位置することから、名付けられました。また、三里屯地区の多様性、オールド&ニュー、イースト&ウエスト、ボヘミアン&シックのユニークな両面性がホテルにも反映されています。

### スワイヤー・ホテルズについて

スワイヤー・ホテルズは、テイラーメイドなパーソナルサービスで、すべてのトラベラーに個性あふれるホテル滞在を提供するユニークなアーバンホテルを香港、中国本土、イギリスにおいて運営することを目的として発足しました。

2008年オープンのザ・オポジットハウス(北京)に続き、香港のパシフィックプレイスに2009年秋にオープン予定の117室のラグジュアリーホテル、その後広州の中心街天河地区に、90室のラグジュアリーホテルのオープンを予定しています。さらに、スワイヤー・ホテルズは、ライフスタイル・ビジネスホテルの「イースト」(345室)を2010年に香港島東部にもオープン予定です。

イギリスでのスワイヤー・ホテルズは2010年より、いくつかの地域にラグジュアリー・ブティックホテルのコレクションを展開してゆく予定です。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、  
スワイヤー・ホテルズ(ザ・オポジットハウス) P R代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。  
: 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp  
<http://www.kentosnetwork.co.jp/>